



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池田 全徳
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)和田 輝久 TEL (06)6223-9111
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	179,290	36.6	10,271	228.9	12,115	131.8	7,479	128.2
26年3月期第2四半期	131,286	△12.1	3,123	△68.3	5,226	△54.7	3,278	△50.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 5,898 百万円 (△54.2%) 26年3月期第2四半期 12,863 百万円 (124.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	36.85	—
26年3月期第2四半期	16.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	390,330	245,030	61.6	1,185.06
26年3月期	398,396	242,193	59.3	1,164.10

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 240,513 百万円 26年3月期 236,274 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	11.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	22.5	26,000	89.1	28,500	71.2	20,000	90.4	98.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	204,000,000株	26年3月期	204,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,046,162株	26年3月期	1,033,086株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	202,959,915株	26年3月期2Q	202,987,738株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 四半期決算補足説明資料はTDnetにて平成26年11月7日(金)に開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(参考情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下、当四半期累計期間)における世界経済は、アメリカでは景気が回復傾向にあり、欧州でも持ち直す一方で、中国については減速するなかで推移しました。

日本経済は、企業業績や雇用情勢の改善がみられるなど、緩やかな回復基調にあるものの、消費税に伴う駆け込み需要の反動により、個人消費が低迷するなかで推移しました。

化学工業界におきましては、原料価格の高止まりが続き、依然として、厳しい事業環境のなかで推移しました。

①全体の状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	131,286	179,290	48,004	36.6%	302,136
営業利益	3,123	10,271	7,149	228.9%	13,752
経常利益	5,226	12,115	6,889	131.8%	16,647
四半期(当期)純利益	3,278	7,479	4,201	128.2%	10,503
1株当たり四半期(当期)純利益	16.15円	36.85円	20.70円	128.2%	51.74円
ROA(総資産経常利益率)	2.9%	6.1%	—	3.2ポイント	4.4%
ROE(自己資本当期純利益率)	3.0%	6.3%	—	3.3ポイント	4.7%
為替(\$、EUR)	\$=¥98.86	\$=¥103.01	¥4.15		\$=¥100.21
	EUR=¥129.97	EUR=¥138.91	¥8.94		EUR=¥134.33
ナフサ価格	64,800円/kl	70,400円/kl	5,600円/kl		67,300円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当四半期累計期間の売上高は、平成24年9月の姫路製造所における事故によって停止した全てのプラントの再稼働を本年2月に果たすとともに、顧客からの信頼回復にも努めた結果、販売数量を大幅に増加させ、さらには、原料価格の上昇に伴い販売価格の修正を行ったことなどにより、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期累計期間)に比べて480億4百万円増収(36.6%)の1,792億9千万円となりました。

利益面につきましても、姫路製造所の生産を回復させたことによる加工費の増加はあったものの、それに伴う販売数量の増加の効果が大きく、営業利益は、前年同四半期累計期間に比べて71億4千9百万円増益(228.9%)の102億7千1百万円となりました。

営業外損益は、受取配当金の増加はあったものの、為替差益の減少などにより、前年同四半期累計期間に比べて2億6千万円の減益となりました。その結果、経常利益は、前年同四半期累計期間に比べて68億8千9百万円増益(131.8%)の121億1千5百万円となりました。

特別損益は、姫路事故に関連した費用がなくなったことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて3億9千8百万円の増益となりました。その結果、当四半期純利益は、前年同四半期累計期間に比べて42億1百万円増益(128.2%)の74億7千9百万円となりました。

②セグメント別の概況

[基礎化学品事業]

アクリル酸及びアクリル酸エステルは、姫路製造所を事故から復旧させたこと、及び姫路製造所で建設中であった新設備が今夏から稼働を開始したことにより販売数量を大幅に増加させ、さらには原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したため、大幅な増収となりました。

酸化エチレン及び高級アルコールは、販売数量が増加したことに加え、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したため、増収となりました。

エタノールアミンは、販売数量は減少したものの、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したため、増収となりました。

エチレングリコールは、輸出を中心に販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて29.4%増加の752億6百万円となりました。

営業利益は、再稼働を果たし、加工費の増加はあったものの、販売数量を大幅に増加させ、さらに前年同四半期累計期間には事故による生産量の減少を商品購入で補っていましたが、その必要がなくなったことによるスプレッド拡大などの結果、前年同四半期累計期間に比べて42億7千9百万円増加の39億5千9百万円となりました。

[機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、姫路製造所を事故から復旧させたことに加え、インドネシアにおいて新たに製造設備を平成25年10月から稼働させたことにより販売数量を大幅に伸ばし、大幅な増収となりました。

特殊エステル及び洗剤原料などの水溶性ポリマーは、姫路製造所を事故から復旧させ、販売数量を大幅に伸ばしたことにより、大幅な増収となりました。

無水マレイン酸、コンクリート混和剤用ポリマー、塗料用樹脂、エチレンイミン誘導品及び電子情報材料は、販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

粘着加工品、樹脂改質剤及びよう素化合物は、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて51.1%増加の927億1千7百万円となりました。

営業利益は、生産を回復させたために加工費の増加はあったものの、姫路製造所のみならず、新設した高吸水性樹脂製造設備(インドネシア)での生産も寄与し、大幅に販売数量を増加させた効果が大きく、その結果、前年同四半期累計期間に比べて132.8%増加の58億5千3百万円となりました。

[環境・触媒事業]

プロセス触媒、脱硝触媒、湿式酸化触媒及び燃料電池材料は、販売数量が減少したため、減収となりました。

自動車触媒、ダイオキシン類分解触媒及びリチウム電池用ポリマーは、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期累計期間に比べて3.8%減少の113億6千8百万円となりました。

営業利益は、販売数量の減少などにより、前年同四半期累計期間に比べて40.1%減少の5億2千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末（以下、前年度末）に比べて80億6千6百万円減少の3,903億3千万円となりました。流動資産は、前年度末に比べて58億7千5百万円減少しました。受取手形及び売掛金などが増加したものの、現金及び預金、棚卸資産などが減少したことによるものです。固定資産は、前年度末に比べて21億9千1百万円減少しました。時価の上昇により投資有価証券が増加したものの、前年度末比で円高になったことにより、在外子会社の為替換算後の有形固定資産が減少したことなどによるものです。

負債は、前年度末に比べて109億3百万円減少の1,453億円となりました。社債の償還などによるものです。

純資産は、前年度末に比べて28億3千7百万円増加の2,450億3千万円となりました。利益剰余金、その他有価証券評価差額金などが増加したものの、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものです。

自己資本比率は、前年度末の59.3%から61.6%へと2.3ポイント増加しました。なお、1株当たり純資産額は、前年度末に比べて20.96円増加の1,185.06円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間（以下、当四半期累計期間）末における現金及び現金同等物は、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フロー及び社債の償還等の財務活動によるキャッシュ・フローの支出が、営業活動によるキャッシュ・フローの収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べて50億7百万円減少の346億1千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（以下、前年同四半期累計期間）の3億9百万円の支出に対し、当四半期累計期間は138億5千万円の収入となりました。法人税等の支払額及び仕入債務の減少による支出が増加したものの、税金等調整前四半期純利益が増加したこと及び前年同四半期累計期間にあった姫路製造所再稼働後のたな卸資産の増加による支出がなくなったことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて141億5千9百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の129億9千6百万円の支出に対し、当四半期累計期間は133億1百万円の支出となりました。有形固定資産の売却による収入が増加したものの、関係会社株式の取得による支出が増加したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて3億5百万円の支出の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の74億4千6百万円の収入に対し、当四半期累計期間は50億6百万円の支出となりました。当四半期累計期間において社債の償還を行ったこと及び長期借入金の返済による支出が増加したことなどにより、前年同四半期累計期間に比べて124億5千1百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの通期の業績は、売上高3,700億円(下期1,907億円)、営業利益260億円(下期157億円)、経常利益285億円(下期164億円)、当期純利益200億円(下期125億円)を見込みます。

平成26年5月8日発表の当初予想に比べ、売上高で100億円の増収となりますが、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、セグメント間での変動はあるものの、総額では変更しておりません。これは、平成26年8月6日に上期の見通しの変更を行ったのと同様に、当初予想時に比べてナフサ価格が上昇すること、及び為替の円安傾向が継続することを見込んだものです。

下期の連結業績につきましては、為替レートを102円/米ドル、135円/ユーロとし、ナフサ価格を70,000円/キロリットルの前提としております。

なお、セグメント別の通期業績予想は以下の通りであります。

・平成27年3月期 報告セグメントごとの業績予想値 (単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
上期実績	752	40	927	59	114	5
下期予想	748	45	1,023	101	136	10
通期予想(今回)	1,500	85	1,950	160	250	15
同 上(当初)	1,430	80	1,950	165	220	15

(参考：上期業績予想値の推移及び実績値) (単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当初予想(平成26年5月8日発表)	1,700	95	105	70
期中変更(平成26年8月6日発表)	1,770	95	105	70
実績(平成26年11月6日発表)	1,793	103	121	75

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が116百万円、利益剰余金が25百万円それぞれ増加しており、退職給付に係る資産が20百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,255	38,595
受取手形及び売掛金	69,964	73,478
商品及び製品	35,455	30,800
仕掛品	6,738	7,775
原材料及び貯蔵品	16,431	16,413
その他	14,692	13,598
貸倒引当金	△192	△190
流動資産合計	186,343	180,469
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	78,355	77,333
土地	32,392	31,668
その他（純額）	46,161	43,373
減損損失累計額	△4,768	△4,659
有形固定資産合計	152,139	147,715
無形固定資産		
その他	3,002	2,840
無形固定資産合計	3,002	2,840
投資その他の資産		
投資有価証券	42,603	45,261
その他	14,441	14,139
貸倒引当金	△132	△92
投資その他の資産合計	56,912	59,307
固定資産合計	212,053	209,862
資産合計	398,396	390,330
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,767	50,975
短期借入金	17,604	22,627
1年内返済予定の長期借入金	8,028	6,009
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	3,917	2,261
賞与引当金	2,639	2,729
その他の引当金	2,970	3,089
その他	13,212	8,802
流動負債合計	111,137	96,492
固定負債		
長期借入金	32,716	35,610
退職給付に係る負債	10,800	11,009
その他	1,551	2,189
固定負債合計	45,066	48,808
負債合計	156,203	145,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,083	22,083
利益剰余金	180,240	186,120
自己株式	△924	△940
株主資本合計	226,437	232,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,454	6,434
繰延ヘッジ損益	9	16
為替換算調整勘定	6,344	2,549
退職給付に係る調整累計額	△970	△787
その他の包括利益累計額合計	9,837	8,212
少数株主持分	5,919	4,518
純資産合計	242,193	245,030
負債純資産合計	398,396	390,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	131,286	179,290
売上原価	111,600	150,006
売上総利益	19,686	29,284
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,727	7,065
人件費	3,848	3,879
研究開発費	5,157	5,223
その他	2,831	2,845
販売費及び一般管理費合計	16,564	19,013
営業利益	3,123	10,271
営業外収益		
受取利息	53	79
受取配当金	430	554
持分法による投資利益	630	584
受取技術料	197	189
不動産賃貸料	546	578
為替差益	810	258
その他	263	559
営業外収益合計	2,929	2,801
営業外費用		
支払利息	263	313
減価償却費	185	192
その他	377	452
営業外費用合計	825	957
経常利益	5,226	12,115
特別利益		
投資有価証券売却益	-	201
受取保険金	3,851	-
特別利益合計	3,851	201
特別損失		
固定資産廃棄損	-	321
事業整理損	-	105
爆発火災事故に係る損失	4,424	-
関係会社出資金評価損	50	-
特別損失合計	4,474	426
税金等調整前四半期純利益	4,603	11,890
法人税、住民税及び事業税	1,214	3,453
法人税等調整額	△5	830
法人税等合計	1,209	4,283
少数株主損益調整前四半期純利益	3,394	7,607
少数株主利益	116	128
四半期純利益	3,278	7,479

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,394	7,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,061	1,982
繰延ヘッジ損益	1	7
為替換算調整勘定	6,557	△3,748
退職給付に係る調整額	-	181
持分法適用会社に対する持分相当額	850	△132
その他の包括利益合計	9,469	△1,710
四半期包括利益	12,863	5,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,437	5,854
少数株主に係る四半期包括利益	426	43

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,603	11,890
減価償却費	7,939	8,859
関係会社出資金評価損	50	-
固定資産廃棄損	-	321
受取保険金	△3,851	-
受取利息及び受取配当金	△484	△633
支払利息	263	313
持分法による投資損益(△は益)	△630	△584
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△201
売上債権の増減額(△は増加)	△3,940	△4,110
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,090	2,924
仕入債務の増減額(△は減少)	2,511	△1,248
未払消費税等の増減額(△は減少)	△59	448
その他	△5,980	△572
小計	△5,667	17,407
利息及び配当金の受取額	1,397	1,858
利息の支払額	△270	△334
保険金の受取額	3,851	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	380	△5,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	△309	13,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,200	△12,210
有形固定資産の売却による収入	87	1,037
投資有価証券の取得による支出	△504	△504
投資有価証券の売却による収入	93	259
関係会社株式の取得による支出	△1	△1,275
その他	△472	△608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,996	△13,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△217	4,836
長期借入れによる収入	9,508	7,650
長期借入金の返済による支出	△772	△5,808
社債の償還による支出	-	△10,000
配当金の支払額	△1,015	△1,624
少数株主への配当金の支払額	△31	△30
自己株式の売却による収入	3	-
自己株式の取得による支出	△7	△16
その他	△23	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,446	△5,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,478	△551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,381	△5,007
現金及び現金同等物の期首残高	47,801	39,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,419	34,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,118	61,355	11,813	131,286	—	131,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,996	1,057	582	11,636	△11,636	—
計	68,115	62,412	12,395	142,921	△11,636	131,286
セグメント利益又は損失(△)	△321	2,514	876	3,070	53	3,123

- (注) 1. セグメント利益の調整額 53百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	75,206	92,717	11,368	179,290	—	179,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,592	2,642	1,483	21,717	△21,717	—
計	92,798	95,359	12,851	201,007	△21,717	179,290
セグメント利益又は損失(△)	3,959	5,853	525	10,337	△65	10,271

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △65百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更によるセグメント利益への影響は軽微です。

(参考情報)

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	26,116	15,155	13,196	4,963	59,430
連結売上高(百万円)					131,286
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.9	11.5	10.1	3.8	45.3

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	34,661	24,076	18,046	9,668	86,451
連結売上高(百万円)					179,290
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.3	13.4	10.1	5.4	48.2

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
 (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
 (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
 (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。